特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

総 会 議 案 書

2016 年 3 月 25 日開催「小諸自然エネルギー学校」にて

2016 年通常総会

[第 11 期：2015 年 6 月 1 日 ～ 2016 年 5 月 31 日]

2016 年 7 月 31 日（日）13：30～

ハロー貸会議室神保町

目次

太陽光発電所ネットワークの活動理念（仮）、組織図　P．3

はじめに　P．4

1 号議案　2015 年度活動報告　P．5

（1）　大方針　P．5

（2）　活動面での重点活動　P．5

（3）　組織運営面での重点活動　P．6

（4）　全体活動一覧　P．7

（5）　2015 年各地域交流会活動報告　P．8

（6）　2015 年度各専門部会活動報告　P．15

2 号議案　2015 年度決算報告（別紙）

3 号議案　2016 年度活動方針および活動計画（案）　P．18

（1）　2016 年度活動方針　P．18

（2）　活動面での重点目標　P．18

（3）　組織運営面での重点目標　P．20

（4）　2016 年度各地域交流会活動方針および活動計画　P．21

（5）　2016 年度各専門部会活動方針および活動計画　P．28

4 号議案　2016 年度予算（案）（別紙）

太陽光発電所ネットワークの活動理念（仮）

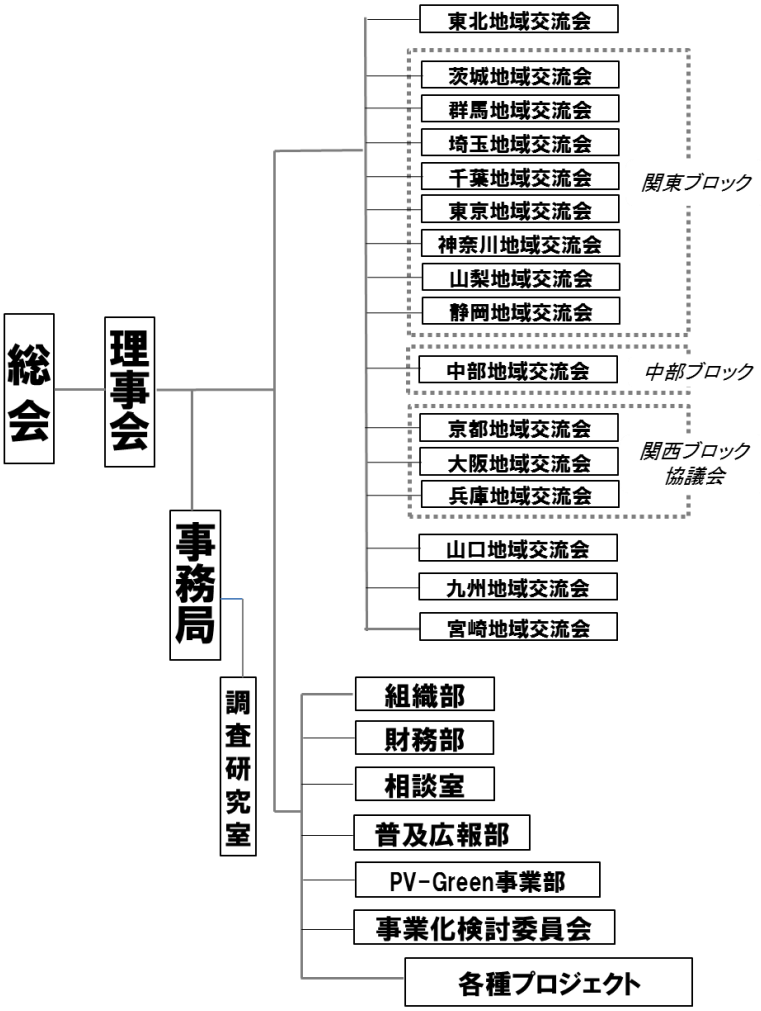
PV-Net の使命（ミッション）

太陽光発電の健全な普及と創造的な活用を通じて、太陽の恵みを基盤とする豊かで自立した暮らしづくりと、自然と調和した持続可能なエネルギー社会を実現します

PV-Net が目指す社会（ビジョン）

- 太陽光発電所長一人ひとりが自覚的に発電し、「電気がつくれる」ことの喜びを感じて共有する。
- 世の中の人々が、自然エネルギーが持つ楽しさ自由さ、面白さへの理解を進めること。「暮らしを買う」ことの貧しさへの気付きを得ること、ひとりひとりがエネルギーの自立を通して自立的して生きること、市民が主役となる変革（＝社会変革）が進むこと
- 地域が自立し、エネルギー自立国家になること
- エネルギーシフト、環境保全、省エネ、社会システム構築

太陽光発電所ネットワーク
組織図



はじめに

今年 4 月に起きた熊本地震は、PV-Net の活動のあり方を再考させるものでした。

立て続けに最大震度 7 の激震に襲われた益城町の被害状況は、非常に激しく厳しいものだったと、東日本大震災に続き組織された「PV-Net 太陽光発電被災調査プロジェクト」は報告しています。さらには余震も長く続くなかで、川内、伊方、玄海の各原発への波及懸念が強く叫ばれました。政府等の対応を見ながら安全・安心な地域社会を継続させるには、自らの働きかけと多くの協働者との連携が不可欠なことも学んでいます。PV-Net はこの調査から、自身の置かれている立場の重要性や期待等を通じて、気の引き締まる思いを改めて認識しました。

不偏不党で過度に国や企業などに依拠せず、自立的に組織運営をすることで市民性や公平性を保ち、そのことが社会的な信頼性につながり、評価されることになりますが、それに応えるためには現実的には財政、人材、技術等の整備が遅れがちで、その慢性的状況を脱する方策を探る状態が続いています。

昨年度の活動も不十分なものが多くあるなかで、PV-Net のとるべき一定の方向性を理事会等の長時間の議論を通して見出しています。今年度は電力自由化、2019 年問題などへの対処が求められるとともに、高齢化、会員増加停滞、空洞化等を克服するスタートの年となれるでしょうか。地域活動を相互化し、全体の活力が生きるような一歩一歩の積み上げを企画・実行し、発電者と消費者の 2 面を持つ会員（プロシューマー）で構成される PV-Net が、時代の羅針盤になれることを強く願っています。そのためには会員間の協働外貨に実現するかが鍵となります。

さあ、あなたの総会をみんなの英知と協力で成功させましょう！

2016 年 7 月 1 日

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

共同代表理事　藤井石根 ／ 都筑 建

1 号議案　2015 年度活動報告

（1）大方針

太陽光発電システムの価値と質を高める活動をとおして、市民参画型のエネルギー社会実現に寄与する

2015 年度は「太陽光発電システム（以下 PV）の価値と質を高める活動をとおして、市民参画型のエネルギー社会の実現に寄与する」を大方針に打ち立てて活動してきました。FIT 制度導入により PV 普及が飛躍的に進んだことから、数だけでなく、質や社会的な役割等が問われるようになりました。PV-Net が新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）との共同事業「太陽光発電システム維持管理技術の開発」を受託し、調査活動を行ったことや、消防庁との PV 屋根防火活動の危険性回避のための提言など、現在最も求められている社会的要求に応える活動が続いています。こうした活動だけにとどまらず、PV-Net としてすでに 2～3 年前から取り組みだした PV のリユース・リサイクル実現への取り組みや、市民共同発電所建設運動とそれに伴う市民ファンドサポート事業を進めてきたことが、電力自由化のなかでグリーンでありユニークな市民的取組をしている「みんな電力」などとの連携につながりました。

（2）活動面での重点活動

NEDO との共同事業や地球環境基金、長野県元気づくり支援金など助成金を獲得し 太陽光発電のメンテナンスおよびリユース・リサイクルに関する調査・システムの構築などが実現できました。

また、電力自由化、市民共同発電所の新規事業の検討を基盤とした、電力自由化セミナーや太陽光発電標準化セミナーを新規講座として開催しました。

特に電力自由化については、自然エネルギーの普及を目的としたパワーシフトキャンペーンの運営団体として参加するとともに、PV-Net 内でプロジェクトを立ち上げ、新電力会社と共同し、市民共同発電所の電力売買を実現させる仕組みを構築するなど、社会的に求められる活動を実施できたことは大きな成果です。

2015 年度初頭に重点活動として掲げた活動を積極的にやりきった 1 年となりました。

1.　太陽光発電のシステムメンテナンスの徹底・拡大

テーマ①の**「診断システムの普及と利用者の拡大」**については、長年の懸案であったPV健康診断の推定発電量表示をようやく復活させることができました。ブランクを払拭すべく、関東の世話人を中心に新生PV診断の研修会を実施し、新たな一歩に向けて再スタートをきることができました。近隣比較についても、各地域交流会で、自主的かつ積極的な取り組みが見られました。

発電システムの安全運用・メンテナンスという側面では、NEDO事業の一環として、太陽光発電の不具合事例や小型PCSの分散設置によるメンテナンスコスト低減の可能性を調査し、報告書にまとめました。火災時の安全確保のための取り組みについて、地域と共同で助成金申請を行ったものの採択されず、地域活動のなかで注意喚起を呼びかけるに止まりました。

熊本地震直後には、事務局とともにPV-Net会員有志が現地入りし、災害時のPVの取り扱いの注意喚起や危険配線の処理などの支援を行うとともに、設置者訪問を実施し自立運転の実施状況などの調査を行いました。調査報告は別途実施する予定です。

テーマ②**「発電システムの質と価値を高める講座の開発と開催」**では、電力自由化に関するプレセミナーやベランダ発電講座などをセンターおよび地域それぞれで開催しました。特に「太陽光発電標準化セミナー」の開催は、太陽光発電に関する標準化が市民目線で話し合われるという業界初のセミナーとなりました。

テーマ③**「発電システムリユース活動の推進」**の取り組みでは、市民によるリユース市場構築のためのプレ調査として、関係団体へのヒアリングや会員への意識調査を行い、リユースに関する相談窓口を開設しました。また小諸エコビレッジでは、リユースパネルとリユースバッテリー、中古ゴルフカートを利用した移動式充電スタンドを建設、実証試験を開始するなど、リユースの活動は大きく前進しました。

2. ソーラーライフの提唱・普及

テーマ①「ソーラーライフの普及広報活動」の取り組み施策の 1 つ「ホームページコンテンツの充実」については、イベントなどの情報伝達では十分な更新を実現し、多くの人にアピールすることができました。ただし、プロジェクトや日々の活動状況を積極的に伝えることはなかなか難しく、さらなる充実が求められます。またそのためにはウェブサイトの刷新が急がれます。また、ソーラーライフの普及講座として自然エネルギー学校を、野田村と小諸エコビレッジで開催しました。ベランダ発電講座は地域ごとにさまざまな工夫を凝らしつつ、昨年同様、神奈川、静岡、埼玉、東京など各地で開催されました。

テーマ②の「グリーン電力証書の利用促進・販売活動」については、販売に向けた研修などを行ったものの、結果に結びつくようなツールづくりに一部課題が残りました。

（3）組織運営面での重点活動

1. 地域・センターおよび地域関連携の強化

会の活性化と運営の円滑化を目的に、各地域交流会の代表が集う「地域代表者会議」を開催しました。地域交流会の代表者が一堂に会する貴重な機会として、各地の活動状況や直面する地域課題の共有、意見交換を行うとともに、理事会への要望の集約を行いました。「地域・センター及び地域間連携の強化」という側面で非常に意義のある会議となりました。今後も発展的かつ継続的な開催を行なっていきます。また、組織部および相談室との共催で「世話人会研修会」を開催し、地域の組織基盤強化のための各種情報共有と勉強会を行いました。

取り組みの 1 つとして掲げていた「地域との協働事業」については、市民共同発電所の新規事業を遂行したほか、NEDO 事業において各地の有志会員とともに調査を実施するなど、各地域メンバーとの協働を推進しました。

「地域との協働事業」については、市民共同発電所の新規事業の遂行などを実施したほか、NEDO 事業において、各地の有志会員と共同調査を実施するなど各地域メンバーとの「協働事業」も実現しました。

2. 会員拡大

会員拡大についてなかなか進まず、寄付収入の拡大とともに、今後、組織的かつ戦略的な取り組みを検討、徹底させることが必要となっています。一方で、組織部を中心に東北地域交流会の準備会を立ち上げることが出来たことは、会活動の新たな可能性を見出すこととなりました。

（4）全体活動一覧

主な取り組み・イベント

2015 年 6 月　市民のための PPS（新電力）設立勉強会 vol.1
7 月　第 10 回再生可能エネルギー世界展示会（東京ビックサイト）
8 月　専修大学インターン生受け入れ、市民のための PPS（新電力）設立勉強会 vol.2
9 月　野田村自然エネルギー学校 2015 秋、文京と社会の今がわかる NPO 展
10 月　だらすこ発電所発電量改善ワークショップ
11 月　SONEQ セミナー「電力小売全面自由化がもたらす地域と企業の可能性」、仮認定 NPO 法人取得
12 月　ゼロから学ぶ！市民のための太陽光発電標準化セミナー
2015 年 3 月　太陽光発電所長大集合イベント 2016、小諸自然エネルギー学校
4 月　平成 28 年熊本地震に係る被災 PV 調査

助成事業、受託事業

葛飾区グリーン電力証書化事業（東京都葛飾区【継続案件】）、大垣市グリーン電力活用推進事業（岐阜県大垣市【継続案件】）、地球環境基金（太陽光発電のリユース市場形成による循環型エネルギー社会の構築）、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）「太陽光発電システム効率向上・維持管理技術開発プロジェクト／太陽光発電システム維持管理技術の開発」、平成 27 年度地域発元気づくり支援金（リユースパネル とリユースバッテ リーの活用による非売電型太陽光発電システムの構築と充電スタ ンドの構築）

各種委員等

太陽光発電システム標準化総合委員会、九州ソーラーネットワーク（SONEQ）、太陽光発電の直流電気安全基準策定委員会、白河市マッチング事業課題検討委員会、世田谷区自然エネルギー活用促進地域フォーラム、地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業等審査会委員、「エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン」パートナー協会

メディア出演、掲載

朝日新聞、環境ビジネス、MONOist（モノイスト）、トラベル Watch、TBS「白熱ライブ ビビット」、新エネルギー新聞、復興応援フリーマガジン「Stitch」、東京ケーブルネットワーク「暮らしの情報室」、FM ヨコハマ「E-ne! ～good for you～」

（5）2015 年度各地域交流会活動報告

2015 年度の各地域交流会の活動報告です。今回より書式を変更し、活動内容を実施できたかという「結果」だけでなく、活動の「目的」や「成果」がより見えやすくなるようにしました。旧書式からの切り替えのため、空白となっている部分もありますが、次年度より本格的に運用することで、社会を変える活動を実施できたかどうかの指標としていきたいと考えています。

茨城地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：茨城地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月				
1	フォーラム・セミナーの開催（年１回）	今まで活動がなかったのでとにかくやってみる	—				4/24 電力小売自由化セミナー	20 名参加	○	実績をもとに回を重ねる	会員拡大
2	市民共同発電所の建設	経験がないので、小規模でも実績を作る	—			12/26 現地視察 1/24,2/8		現地調査 設置申請	△	次年度は建設と売電開始を目指す	—
3	PV カルテの登録、発電量の記録の呼びかけ	・地域会員の結束強化 ・普及啓発に係る活動費の確保	—	通年				—	△	システム等につき事務局へ提案	診断システムの利用者拡大
4	センター事務局との連係	方針の共有	—	7/26 総会	10/4 地域代表者会議 10/18 懇談	2/27 世話人会に事務局参加		行事への参加	○	状況の相互理解	—
5	静岡地域交流会との連携	静岡地域交流会の活動に学ぶ	—			1/18 静岡世話人会 2/27 茨城世話人会		世話人会に静岡会員参加	○	たまり場づくり その他地域との交流も目指す	地域との連携・交流
6	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	—	7/4 8/1	9/5 10/24 11/28	1/24 2/27	3/27 5/21	定例化	○	従前は会場難もあり集まれなかった。今後は毎月開催を目指す	—

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

群馬地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：群馬地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月				
1	世話人会の開催	—	—	通年				—	×	開催を模索したものの実施することができなかった	—
2	世話人の学習機会の保証	—	—			12/19		1 回	○	センター主催の世話人研修会に 3 名を派遣した	—

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

埼玉地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：埼玉地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月				
1	PV-Net埼玉地域フォーラム（電力自由化に向けて、私たちにできること）	環境ネットワーク埼玉等との共催により、より多くの会員、市民への訴求	—			1/30		参加者 70 名超	○	—	会員との交流
2	PV-Net埼玉交流会 見学会 最先端ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）バスツアー見学会	【群馬県箕郷町】太陽光発電と水耕野菜栽培と土地栽培【埼玉県美里町】埼玉県最大のソーラーシェアリング実施農場	—	6/13				参加者 37名	○	—	フォーラムと見学会は、埼玉地域交流会の恒例2大行事
3	中之条電力見学	北軽井沢での合宿世話人会の翌日、群馬県中之条町のメガソーラー発電所を2か所見学	—	7/11 ～12				—	○	—	初めての合宿世話人会だが、恒例にしたい
4	自治体のイベント参加 ①東松山市環境みらいフェア ②くまがやニャオざねまつり ③和光市民まつり ④熊谷市農業祭	いずれも恒例な行事で毎年参加	—		①10/10 ②10/11 ③11/9 ④11/21,22			世話人が手分けして参加	○	—	自治体との交流

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

千葉地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：千葉地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月				
1	いんざいエネルギーフォーラムの開催	・地元団体との協働 ・最新情報の発信	—		11/15			打ち合わせ 6回	◎	温暖化防止印西メンバー 5名と情報共有	
2	世話人会の開催	・情報交換／共有 ・地域活動の活性化	—	通年				8回開催	○	4月世話人会後に交流会1回開催、世話人以外3名参加 交流会は今後、毎回継続	
3	自然エネルギーを広めるネットワークちば 定例会参加	・情報交換／共有 ・他団体との連携	—	通年				4回参加	○	いんざいエネルギーフォーラムチラシを 3,200 枚配布協力（パルシステム千葉）	
4	市民エネルギーちば合同会社への協力	ソーラーシェアリングによる発電所建設協力	—	通年				増設機作業手伝い、完成	◎	スマートターン用の架台、部材による建設過程を経験。スマートターンの能力を確認	
5	イベント出展（他団体との連携）	・PV-Net の PR ・PV 無料相談	—	6/13 6/28	9/23		5/22	4回出展	◎	他団体との交流に発展	
6	職業能力開発促進センターへ講師派遣	普及啓発に係る活動費の確保	—		9/4,9/7 10/31,11/7		3/3,3/4 5/14,5/21	4回講師派遣	◎	講師料収入 20 万円以上	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

東京地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：東京地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール 6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
1	地域密着型の太陽光発電所普及事業の強化	・地域の市民団体と連携し、ソーラー啓発活動と、市民共同発電事業、個人住宅設置支援事業を進める ・東京地域での市民共同発電所設置の推進や独立系の PV 製作講座などで啓発活動を実施	—	通年 発電セミナー2回	発電セミナー3回		発電セミナー1回	市民共同発電所支援を3ヵ所実現 ベランダPV講座を6回行い40 台の独立型PVを作成	◎	市民共同発電所の支援を通してPV 施設の導入を図ることができた。共同発電所を設置したいという地域の活動家を発掘できるかが課題 ベランダ PV 講座を通して、地球温暖化の危機を啓蒙することができた。ベランダ PV だけでなく地球温暖化講座をパッケージできるかが課題	—
2	財政基盤強化	市民共同発電所設置の支援や独立型の PV 制作講座などで地域活動での財政基盤を強化するスキームの確立	—	通年	市民発電所サポート2回	講師派遣2回 学習会1	市民発電所サポート3回	支援事業で74.2 万円、ベランダ PV 講座の実施で119 万円の収入を獲得	◎	東京地域交流会として事業を行い、自立した活動基盤を構築できた。継続できるかが課題	—
3	活動 PR・会員拡大	・非設置者に対し、展示会などで独立型 PV 講座や共同発電所の提案などを通して PV-Net の活動を普及する ・個人住宅設置支援を強化し、会員拡大を目指す	—	通年 展示会出展1回	展示会出展2回		展示会出展2回	展示会・イベントには 3 回参加。個人住宅の設置支援は実施できなかった	○	イベントに参加することが目的になっている。参加の目的を明確にして参加するようにしたい。個人住宅の設置支援は再エネ普及及び基盤強化のためには行っていきたい	—
4	組織活性化	会員の要望に沿った企画をフォーラム東京等で実施し会員のコミュニケーションを強化する。 また、各地の商工会議所などとも連携を図り、宣伝掲載や活動支援などで財政支援を図る	—	通年 世話人会3回(毎月)	世話人会3回(毎月)	世話人会3回(毎月)	世話人会3回(毎月)	フォーラム東京等の実施は未達	×	会員向けの活動が停滞。来期は会員資格も変更予定もあるので会員とのコミュニケーションを図るようにしたい。通常活動に対する事務経費増大しているので収入の確保が課題。また、事務局費用を確保もする	—

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

神奈川地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：神奈川地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール 6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
1	フォーラム神奈川 2016 の開催	会員、一般市民の関心事である電力小売り自由化についての情報発信	—				3/26	当初予定の70 名近い参加者を得た	◎	電力小売り自由化について、それぞれの主張を持った方を講師として招き、出席者から好評を得た	会員への結びつきの確認
2	ワークショップ「出前発電所を作ろう！」を 6 回開催（通算 18 回）	会員、一般市民のニーズに対応して開催	—	6/21	9/13 10/17	1/31 2/13	5/8	熱心な参加者であった	◎	最近では、県外や会員以外の一般参加がほとんどになった	参加希望者が今後もある
3	広報誌「PV かながわ」を毎月発行	ニュースレターとして、会員への時の話題や、近隣比較の発電情報などを提供して、絆の確認	—	第1号~3号	第4号~6号	第7号~9号	第10号~12号	1 年間継続	◎	世話人や会員からの投稿をもとに、継続は力なり！	発行を心待ちにしている人も
4	青少年のための科学の祭典、子どもサイエンスフェスティバル大和大会・藤沢大会に出展	青少年への環境教育	—	8/9		12/5 2/11		いずれも盛況	◎	ソーラーバッタ組み立て教室、ソーラーバッタトーナメント対決などが人気	例年参加が定着
5	地域のイベントに出展	ひらつか環境フェスタ、厚木環境フェア、ほどがやまなぶん祭りに出展	—	ひらつか	厚木 ほどがや			—	◎	財政難から、出展料を徴収されるイベントには参加しない	例年参加している
6	世話人会の開催	・地域交流会活動の企画、実施計画立案 ・理事会、事務局の連絡調整	6、7、9、10、11、12、1、3、4 月に開催						○	例年は毎月開催であったが、財政切り詰めのため、今年度初めて 8 月、2 月、5 月の開催を見送った	世話人の交通費節約のため、休み月あり

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

山梨地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：山梨地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	イベントの開催（ライトダウンやまなし八代会場）	市民立共同発電所を活用してイベントを開催する	年１回のライトダウン開催		11/7			年１回	◎	毎年恒例になり、定着	—
2	サッカーJ1「ヴァンフォーレ甲府」ホームゲームでの PV-Green の活用	PV-Green の利用普及	年１回以上	6/27				年１回	◎	グリーン電力活用試合の開催は毎年恒例となり、他のグリーン電力証書やカーボンオフセットでなく、PV-Green を指定して利用してくれるようになった	—
3	「広がれ！小瀬エコスタジアム実行委員会」に協力し、小瀬エコブースを担当	一般県民に対して PV や PV-Green のさらなる普及を図る	年１回		9/12			年１回	◎	毎年依頼をいただくようになり、定着	—
4	役員会の開催	活動の展開	年４回		9/12			年１回	△	もう１～２回の開催が目標	—
5	会員の拡大	PV のさらなる普及	年間を通して						▲	PV-Green の紹介などを通して、間接的には拡大行動ができてはいると思うが検証できていない	—

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

静岡地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：静岡地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	フォーラム・セミナーの開催（年２回）	新たな地域会員の獲得による会の活性化	—		ソーラーシェアリング 11/29		電力自由化 4/10	新規会員４名	○	テーマがタイムリーだったため、地域新聞（沼津朝日）に掲載されるなど、一定の宣伝効果は得られた	会員拡大
2	行政・自治体活動への参画	・活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・自治体との関係強化	—	沼津市 2015.7 ~	伊東市 10/24 富士市 11/28	沼津市 2/14 裾野市 2/21			○	・県内４市環境イベントへ出展 ・沼津市エコ推進 PJ 補助金確保 ・環境関連団体との連携を開始	—
3	社会活動への参画	関連周辺活動への参画による視野の拡大	—	三島祭り 8/16	健康祭り 10/25 反原発 11/21				○	太陽光発電・環境問題の枠を超えた各種活動への間接的参加による知名度向上	—
4	市民共同発電所建設の推進	・地域会員の結束強化 ・会の活動費の確保	—	５号基連系 7/6 開所式 7/20	６号基連系 9/7 希望の牧場 10/29				○	・２基の市民共同発電所の稼動開始による資金調達 ・次年度の建設計画の立案	—
5	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	—	通年				９回開催	△	ほぼ予定通りの頻度で開催できたが、県東部が主で中部は１回、西部は０回となり、今後の課題	—
6	学習と情報収集	・世話人、会員の情報交換 ・本部イベントへの参加	—	通常総会 7/26 中之条電力見学 8/11,12			大集合イベント 3/12 落雷被害調査 4/7		○	本部のイベントへの参加や他地域交流会との連携により最新情報を得ることができ有意義であった	—

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

中部地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：中部地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	世話人会の開催（毎月）	PV-Net の活動、地域活動の共有	100%（12 回）	100%	100%	66%	100%	91.5%	△	３大目標実現に集中討論。討論は深まったが、会員にしみ込んだとは言えない	面白く、楽しい、企画・討論が不足
2	暮らし方交流会の開催	PV-Net の活動＝生き方の模索という方向性を示す	50 名			11/15		35 名（70%）	△	集客としては精いっぱいの数字。エネルギーに特化すれば、小規模分散型の暮らしの在り方は示せたが、行政を巻き込む視点に欠ける	他地域からの問題提起が必要
3	オフグリッドな暮らしづくり（独立型 PV 講座）	本年中に実施予定だったが、方針が定まらず、次年度７月となった	10 名				実施予定だったが未実施	未実施	△	討論を積み重ねるにつれ、世話人会参加者は増。燃えるような人材については発掘不足	オフグリッドから見える世界を示せなかった

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

関西ブロック協議会

2015 年度活動振り返り　　地域名：関西ブロック協議会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	ブロック協議会会議	PV-Net 理事会と関西の地域交流会との意志疎通を図り、その準備会の活動の交流	—		10/3			—	▲	東京での地域代表者会議に参加	
2	研修会	リーダーの養成と会員確保	—		10/3		5/29	—	▲	・ 東京での地域代表者会議に参加 ・ 関西協議会研修会を実施	
3	共同発電所建設	和歌山での市民共同発電所建設	—		9/16			—	△		
4	他の団体との交流	他の団体との交流は学会発表等	—				3/26	—	△		

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

大阪地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：大阪地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	グリーン電力学習会	グリーン電力の現状と今後の販売活動を推進する	活動目標の設定		10/1			実施	▲	世話人会の活動ができておらず、会員への広報等もできていない	関西協議会行事への参加

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

兵庫地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：兵庫地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール 6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
1	創エネ、蓄エネ、省エネをテーマとした勉強会、見学会を開催	地球温暖化防止に寄与する「創エネ」、「蓄エネ」、「省エネ」についての最新情報を収集するために有志を集めて勉強会を実施し、一般県民の意識高揚を諮ることを目的として兵庫県民に向けて情報発信	—	6/19 ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)ってなんだろう？				参加者 12 名	○	ZEH に対する国の施策の話や、省エネ技術、蓄エネ技術の最新動向、スマートハウスの実現、技術等、わかりやすく解説していただき、ZEH に対する理解が深まった
			—	8/22 セキスイハイム奈良工場				参加者 12 名	○	工場見学では、実際に稼働しているユニットの製造工程を見学。モデルハウスでは、PV、EV、蓄電池等を組み合わせたスマートハウスを見学し、「創エネ・蓄エネ・省エネ」の最新情報を学んだ
2	自然エネルギーフォーラム開催		—			12/4		参加者 84 名	◎	金澤副知事より、兵庫県のエネルギー対策方針や兵庫県の地域創生戦略について。関西広域小水力利用推進協議会の古谷理事は、小水力発電についての問題点と解決策について解説。PV-Net 兵庫の活動状況を林氏より報告し、PV-Net 関西の活動状況を和歌山会員の仁木さんより、地域貢献型太陽光発電所の取り組みが報告された
3	太陽光発電の発電に関する情報提供		—			共同ソーラー発電所発電状況報告（12/4）	ソーラーパネル点検ツールデモストレーション（3/24）		○	（その他） ・ 日照時間と発電量の関係に関する情報提供 ・ 我が家の発電所紹介 ・ Facebookによる活動報告
4	太陽光発電設備の設置相談		—					26 回の相談支援	◎	・ ひょうご環境創造協会再生可能エネルギー相談支援 ・ センターの現地相談制度にコンサルタントとして協力
5	他団体との交流		—						○	・ 関西広域小水力利用推進協議会主催の小水力発電を訪ねる視察旅行に北方、河原が参加 ・ チベット出身の声楽家・講演講師・社会教育家バイマーヤンジンさんと、チベットにおける自然エネルギー利用ボランティアの可否について、情報交換

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

宮崎地域交流会

2015 年度活動振り返り　　地域名：宮崎地域交流会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール 6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
1	PV-Net 会員の拡大	世話人会、交流会、PV-Green の説明会	—		✓	✓		—	△	PV-Green の活用に結びつかなかった	
2	会の知名度の向上	宮崎県・宮崎市・都城市・川南町等との連携イベント	—		✓	✓		—	△	PV-Net の活動として打ち出せなかった	
3	新エネ・省エネ普及	PV の相談窓口常時開設 PV の自立運転啓発	—	✓	✓	✓		—	○	PV の相談について、常時受付対応を行った。自立運転についての要望は多くなかった	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

九州地域交流会

2015 年度は以下の活動方針を立てました。

1. センターとの協働のもと、組織体制を見直します。
2. センターとの協働のもと、グリーン電力証書販売を強化します。
3. 九州ソーラーネットワーク（SONEQ）との連携活動を行います。

実際には各九州内の地域の独自活動を中心に動きながら以下の活動を行いました。

a. 熊本地震 PV 被災調査での協働参加（宮崎、福岡、熊本）
b. SONEQ との協働（SONEQ のアドバイザー、共同活動）
c. 福岡のメンテナンスを主活動としている太陽光発電アフターサービスとの連携活動

このなかで、熊本地震の PV 被災調査をセンターとともに宮崎、福岡、熊本の各メンバーとともに実施しました。SONEQ は九州の自治体関係者、PV メーカー、PV 事業者、PV 販売施工者などが九州経産局のサポートで組織化されている協議会であり、市民・ユーザーの立場から PV-Net がアドバイザーとして関わっています。アドバイスやサポート協力として市民ファンド活動の進め方や、PV に関わる自治体に求められる役割等で協働しました。

また、NEDO 事業を通して行った、PV のコスト低減の可能性把握やメンテナンスの実態調査において、福岡の太陽光発電アフターメンテナンス協会と協働を行い、報告書作成に貢献しました。

上記の活動を通して、改めて各県単位の再組織化を進める基礎ができつつあります。また、グリーン電力証書の販売は昨年と同程度の普及状況となりました。

（6）2015 年度各専門部会活動報告

2015 年度より、PV-Net の財政基盤の強化と、電力自由化など世の中・会員ニーズの高いテーマの事業化を目的とする事業化検討委員会が発足しました。また、相談室と組織部の連携による研修会が開催されるなど、PV-Net の全体活動は、部会活動の活発化によって促進されています。

相談室

2015 年度活動振り返り　　相談室

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	新 PV 健康診断システムの普及	① 相談員研修会による再教育・再周知 ② 地域イベント（フォーラム、講習会等）での普及	—			12/3 12/19	5/29	相談員研修会を3回開催	△	一般会員への展開の準備段階。今後、一般会員への普及が必要	発電量の低下による CO_2 排出削減量低下の防止
2	管理ページの地域アクセス	相談員研修会で説明	—			同上	同上	同上	△	システム的改善を進め、地域への普及が必要	地域会員へのサービス向上で組織拡大
3	相談員の人材確保	相談活動充実による会員拡大	—						×	未達	
4	相談活動・ソーラーヘルプデスク活動の実施	設置者の困りごと、トラブル解決	—	8回	7回	4回	7回	計 26 回実施	○		

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

財政部

2015 年度活動振り返り　　財政部

No.	2015 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	効率的な財政運営	—	—	通年				—	△	—	
2	会費未納会員の解消	—	—	通年				—	×	活動ができなかった	
3	新たな事業収益の確保に向けた調査・研究	—	—	通年				—	○	イベントなどで物販を実施。好評だった	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

事業化検討委員会

2015 年度活動振り返り　　地域名：事業化検討委員会

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	基盤強化事業	活動基盤強化となる事業性のある活動の抽出	—	8月~12月				基盤強化になりそうな事業 7 項目を抽出	○	・事業化につながる項目を抽出 ・広告費のためのルールを改定 ・基盤強化になりそうな項目は抽出できたが、それぞれの事業化を担える担当を公募するなど工数の確保が必須 ・市民共同発電所の企画（静岡田中山）	
2	電力自由化 PJ への展開	電力自由化対応 PJ を理事会承認で立ち上げ、電力自由化に向けた施策と基盤強化になる事業の立ち上げを行った	—			12月~5月		みんな電力との包括契約を締結	◎	・大集合イベントで説明会実施 ・FAQ を作成（WEB 公開） ・みんな電力との包括契約を行い、市民共同発電所等と新電力の連携を推進し、かつ基盤強化ができた（32 施設約 600kw を紹介、120 万円程度の収入） ・他新電力との契約は継続中 ・他の新電力とはネットワークが重要であり、地域交流会との連携が必須	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

PV-Green 事業部

2015 年度活動振り返り　　PV-Green 事業部

No.	2015 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月			
1	組織的な販売施策の実行	PV-Green 事業部の現状認識	関西・中部・関東					関西地域：実施 中部地域：代表のみ 他：未実施	△	現状共有と販売促進の説明会等を一部で実施し、開催し一定の理解を得る事ができた。次年度未達成地域での実施を行う
		PV-Green 研修会の実施	2 回					1 回	△	十分な時間を確保する事ができなかった。また、内容・回数を見直す必要があると感じた。再度計画を見直し、地域へ理解を求め、次年度の達成をめざす
		販促資料の作成・活用	① リーフレット ② パワーポイント（汎用・個別）					① 販促活用済み ② 0%	△	認知用リーフレットの配布はできたが、営業活用資料は作成できなかった。次年度にて達成をめざす
		販売規約内容および PVG 購入申込関連書類の見直し	改版,適用					価格の見直しを実施 計画 4 書類の改版・適用	○	計画通りできたが、新規購入者が容易に理解できる資料へのさらなる改版が必要。次年度も継続実施
		販売マニュアルの作成	—					0%	×	計画的かつ分担することで、次年度にて達成する
2	電力自由化など、社会経済情勢の変化を踏まえた事業の見直し	市場・他社動向調査	①国、地方自治体での規制調査 ②グリーン証書市場・動向調査 ③価格調査					調査完了	○	調査実施により、状況を把握する事が出来た。次年度、この情報を元に、対策方針を決定の上、一部実施まで行いたい。
		新電力会社との販売協力検討	①動向調査 ②参入検討					・調査実施　また、一部新電力会社と協議実施	○	グリーン電力証書と組み合わせ販売希望企業はあったが、最終的提携に至らなかった。他社実施により、再度内部にて検討を行う
		中期計画の作成	—					0%	×	次年度にて達成する

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

普及広報部

2015 年度活動振り返り　　普及広報部

No.	2015 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール				実績（数値、状況）	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について	（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月				
1	新 WEB サイトと IT ツールの活用による PV-Net の認知度＆成果向上	団体の知名度アップ 会員数＆寄付額アップ	―	通年				WEB 年間訪問者数 7,634 Facebook 年間閲覧数 97,690	△	2015 昨年度中の WEB リニューアルを予定していたが、システムトラブルにつき未完成に終わった。Facebook を活用した情報発信では更新 195 回、約 10 万名の閲覧者を集め、団体の認知度を広げた	

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上）　○：目標を達成（達成率 100%以上）　△：目標未達（達成に向け改善可）　▲：目標未達（改善不可）　×：実施されず

組織部

2015 年度の本会の組織運営に関して、2 つの重点活動方針を立てた。1 つ目は、「地域・センターおよび地域間連携の強化」である。具体的には、センターとして地域代表者会議の開催を年に 2 回ほど行い、また、地域交流会活動への参加や協働事業の実施を促進することであった。また、関東や関西の地域ブロック協議会では、相互に交流を行い、地域間協力を実現させ、地域ブロックの活性化を図ることを目指していた。もう 1 つは、 上記の活動を通じて「会員拡大」を行うことである。

2015 年の組織部としての活動は、回復した PV 健康診断の再確認や、研修活動、電力自由化に関連する事業化の課題、2019 年に余剰買い取りの期間が終了する会員の課題（2019 年問題）、地域交流会の名簿管理システムなどを課題にして、関東では昨年 12 月に 2 度、関西では 5 月に研修会を行った。

関西地域は、市民共同発電所建設運動を通じ、和歌山地域交流会準備会が組織され、静岡地域交流会の市民共同発電所建設の経験から学びを得た。また東北地方では、静岡地域交流会の協力によって、岩手などで新たな地域交流会が組織されて、東北地域ブロック形成の運動が起こった。

上記、2015 年度の活動方針に関する活動は、一定程度は実現されたものの、組織部での評価は達成率約 2 割とした。2 割の達成率とは、ほとんど成果を得ていないことを意味する。この現実から、組織部活動方針に関する基本的な見直しが必要となると結論した。

2016 年度については、実現可能な年次活動方針を出し、その活動を半期ごとに点検することが重要となる。その段階で年次計画の修正を行うかを再度検討することが必要だろう。実現可能な組織部の活動方針を立てるということは、前年度の活動を現実的に反省し、現実的に修正する組織部の運営を前提にして成り立つ。その上で、次年度の活動方針を立てる。このことが、2015 年度活動の点検から結論された。

3 号議案　2016 年度活動方針および活動計画（案）

（1）2016 年度活動方針

電力自由化および 2019 年問題への取り組みを通し、市民目線での太陽光発電の健全な発展と普及に寄与する。

PV-Net は、太陽光発電を取り巻く最先端の課題に常に向き合い、発展的な普及につながる仕組づくりや提言を、自らの「活動」を通して社会に強く発信し続けてきました。その存在意義と重要性は市民社会のみならず、社会の中でも広く認められ、太陽光発電のトップランナーとしての位置づけを確立してきました。

電力自由化や、2019 年問題に直面する時代の転換点において、自然エネルギーに深く関わるプロシューマー（生産消費者）である私たちが、どこを向き、何を求め、何を実現しようとするか、さらに自覚的に探しだし、協働する活動は PV-Net の存在価値を高め、さらなる社会貢献につなげていきます。

（2）活動面での重点活動

PV-Net の会員は電気の生産消費者（プロシューマー）、いわゆる消費者（ユーザー）であり同時に発電事業者（＝グリーン電力生産者）という立場の方がほとんどです。

グローバル化が進み、解決できない矛盾が頻発している産業社会の限界がさまざま指摘される中で、生産者と消費者の顔を合わせ持つプロシューマーが、地球温暖化問題やコミュニティ崩壊、金融危機に対処する社会の主役になると指摘されています。

社会の根幹であるエネルギーというテーマを通して、会員一人ひとりが「プロシューマー」としての自覚により深く目覚め、その視点を持って社会と関わり、PV-Net 活動へも参画していけるような講座の開催や活動を実施していきます。

「保守・メンテナンスに関する活動」については、これまで通り重点項目として継続した活動を行います。特に災害時の安全性の確保やガイドラインの作成に力を入れていきます。この活動においてもプロシューマーという視点を生かし、先進的に取り組みます。

2019 年に約 45 万件の PV システム 10 年間の買取期間終了を迎える「2019 問題」。しかしながら、優遇期間終了後の買い取り義務・価格などの見解は示されていないままです。PV の健全な普及実現を進めていく上で、プロシューマーとしての役割が求められています。2019 年問題の本質が何か、どんな対応が必要なのか、などを検討していくとともに、FIT 制度の運用のあり方への提言や、リユースバッテリーを活用した蓄電池システムなど、新たな事業展開を積極的に進めていきます。

1. プロシューマーを育成する活動

- FIT 電気への切り替え促進活動 【事業化検討委員会電力自由化プロジェクト】
- 地域交流会組織基盤のサポート（対象：東北、関西、四国） 【組織部】
- プロシューマー育成連続講座の開催 【事務局＆各部会／各地域交流会】
  （PV 基礎講座、電力自由化、独立型 PV、リユースパネル＆バッテリー、保守メンテ）
- 市民共同発電所設置サポート 【事務局、静岡、東京、組織部】
- 市民市民共同発電所建設・運営カリキュラム素案づくり 【組織部】
- 大集合イベントの開催 【事務局＆理事会】
- 自然エネルギー学校の開催（野田村・小諸） 【事務局】
- PV-Green の販売 【PVG 事業部・事務局・地域交流会】
- 個人住宅の CO_2 排出権取引事業の検討（東京都中小企業助成金） 【事務局＆事業化検討委員会】

2. 保守・メンテナンスに関する活動

- PV カルテの充実、発電量登録キャンペーン 【相談室、各地域交流会】
- 相談情報コンテンツの作成・発信 【相談室】
- 熊本地震被災 PV 調査 【事務局、研究員】
- 災害時における発電システムの安全性向上ガイドラインの作成（NEDO プロジェクト）【調査研究員】
- リサイクル、リユース事業の検討 【事務局、リユースプロジェクト】

3. 2019 年問題に対応するための活動

- 2019 年問題に対する課題抽出と問題定義の検討 【事務局、理事会】
- 独立型太陽光発電システムの講座開催 【各地域交流会】

（3）組織運営面での重点活動

組織面の重点活動として PV-Net 全体の運営基盤を固めるため、財政面と運用面での機能強化を図っていきます。

財政においては、安定的かつ汎用性の高い資金源として、寄付金や会費収入の拡大に重点的に取り組みます。また、地域活動の活性化と団体運営の円滑化を図るため、関東ブロックおよび関西ブロックそれぞれで、理事メンバーを加えた地域代表者会議を開催します。さらには、地域活動の円滑化のため会員情報ツールの充実を図ります。

認定 NPO 法人の取得をめざす段階で大きな課題になっている会計手法については、NPO 会計基準への移行、それに伴う会計方針の見直しなどを進め、会計処理のさらなる適正化・効率化を目指し、会計活動全般の改善を図っていきます。

1. 財政基盤の強化

- 賛助会員の獲得 【事務局、理事会、各地域交流会】
- 寄付の獲得 【理事会】
- 助成金の獲得 【事務局、各地域交流会】

2. 理事会と地域連携

- 関東、関西代表者会議の開催 【組織部】
- 地域管理ページの運用開始 【事務局、各地域交流会】

3. 事務局機能の強化

- 会計、経理の改善

（4）2016 年度各地域交流会活動方針および活動計画

2016 年度の各地域交流会の活動方針＆活動計画についても、PV-Net として、地域交流会として、「何を目指すのか」「何を実現したいのか」という「目的」や「成果」から、活動内容を考えるということを重視しました。モチベーションを保ちながら持続的に活動するためにも、目的の達成状況を明らかにしていくことは有効であると考えます。

新たな地域活動としては、東北 6 県の合同による地域交流会準備会が立ち上がり、2016 年度は本格的に活動を始動します。

茨城地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：茨城地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	セミナーの開催	行政の認知 県民への啓蒙	未定					会員拡大
2	市民共同発電所の建設	・地域会員の結束強化 ・普及啓発に係る活動費の確保	未定	通年				—
3	PV カルテの登録、発電量記録の呼びかけ	PV-Net の価値向上	カルテ登録率昨年比 10%増	通年				診断システムの利用者拡大
4	総会・イベントの開催	会員の結束強化	未定	通年				—
5	静岡地域会との連携	連携強化による新たな活力	未定					—
6	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	12 回開催／年	通年				—

群馬地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：群馬地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	世話人会の開催	地域の結束強化 地域活動の活性化	2 回開催／年	通年				—
2	WEB 活用による世話人情報共有ネットワークの確立	地域の結束強化	12 回／年	通年				—
3	世話人の学習機会の保証	地域活動の活性化	2 回／年	通年				—

埼玉地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：埼玉地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	PV-Net埼玉見学会 スマートコミュニティ向け蓄電システム＆本庄エコタウン	・ 早大本庄キャンパス定置用蓄電池次世代運用システムの研究他 ・ 本庄市エコタウン追尾式太陽光発電システム他	—	6/11				
2	独立型PV組立講座 ワークショップ	PVの普及 埼玉県内数カ所を予定	—	8/27				
3	自治体のイベント参加 ①東松山市環境みらいフェア ②くまがやニャオざねまつり ③和光市民まつり ④熊谷市農業祭 他	例年どおり	—		①10/15 ②未定 ③11/12 ④未定			
4	市民共同発電所建設支援	埼玉県内数カ所を予定	—	通年				

千葉地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：千葉地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	かまがやエネルギーフォーラムの開催（年１回）	・ 市環境課と打ち合わせ ・ 市助成対象者の参加 ・ 農業関係者の参加	１回開催／年					
2	世話人会＆交流会の開催	・ 情報交換／共有 ・ 地域会員との交流	12 回開催／年	通年				
3	自然エネルギーを広めるネットワークちば定例会参加	・ 情報交換／共有 ・ 他団体との連携	フォーラムでの連携	通年				
4	市民エネルギーちば合同会社への協力	・ ソーラーシェアリングによる発電所建設協力 ・ 発電量分析／報告	２基の発電所建設	通年				
5	イベント出展（他団体との連携）	・ PV-Net の PR ・ PV 無料相談 ・ 最新情報の発信	４回出展／年	5月 6月	9月 10月			
6	職業能力開発促進センターへ講師派遣	普及啓発に係る活動費の確保	４回派遣（のべ８日間）	8月	11月		3月 5月	

東京地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：東京地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	地域密着型の太陽光発電所普及事業の強化	新電力との協業を含め、地域密着型の太陽光発電所の拡大を図る。また、東京地域としても会員による東京地域太陽光発電施設を建設する	・市民共同発電所１施設 ・東京地域として１施設 ・新電力からの買電者を獲得する	通年	東京地域PV施設1施設設置			
2	財政基盤強化	昨年から継続して、独立型の PV 制作講座などで地域活動での財政基盤を強化。 個人住宅設置支援のスキームを構築する	ベランダ PV 講座 4 回	○	○		○	
3	活動 PR・会員拡大・組織活性	・ 個人住宅設置支援を強化し、会員拡大を目指す ・ 展示会などで独立型 PV 制作講座や共同発電所の提案などを通して地球温暖化の危機を啓蒙する ・ 世話人の拡充	・5 名の新規設置者および会員化 ・地球温暖化の危機を認識させる(アンケートで評価) ・世話人の勧誘を行う	通年				

神奈川地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：神奈川地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	「フォーラム神奈川 2017」	恒例行事、会員、一般市民への関心事を取り上げての勉強会	年１回				3/4	会員との交流と勉強会
2	A) ワークショップ「出前発電所を作ろう！の開催	会員、一般市民のニーズに対応して開催	年数回	8月予定				
	B) 見学会	新しい知識の獲得	原則年１回		9月前半			会員の勉強会として
3	広報誌「PV かながわ」を毎月発行	ニュースレターとして、会員への時の話題や、近隣比較の発電情報などを提供	年 12 回	毎月１回発行				
4	青少年のための科学の祭典、子どもサイエンスフェスティバル大和大会・藤沢大会に出展	青少年への環境教育	例年通り	8月				
5	地域のイベントに出展	横浜開港祭、ひらつか環境フェスタ、厚木環境フェア、保土ヶ谷まなぶん祭りに出展	各１回	6/2				
6	世話人会の開催	地域交流会活動の企画、実施計画立案、理事会、事務局の連絡	毎月開催予定					

山梨地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：山梨地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	イベントの開催（ライトダウンやまなし八代会場）	市民立共同発電所を活用してイベントを開催する	年 1 回のライトダウン開催		11/5			会員拡大
2	イベントの開催（第 2 回ソーラークッカー全国大会・山梨太陽熱エネフェス）	太陽（熱）エネルギーの直接利用の普及	500 人	7/16				会員拡大
3	PV-Green を活用したサッカーJ1 ヴァンフォーレ甲府ホームゲームの開催	PV-Green の利用普及	年 1 回以上	8/13（予定）				PV-Green の利用普及
4	「広がれ！小瀬エコスタジアム実行委員会」に協力し、小瀬エコブースを担当	一般県民に対して PV や PV-Green のさらなる普及を図る	年 1 回	8/13				PV-Green の利用普及
5	役員会の開催	活動の展開 PV の更なる普及	年 4 回	8/13				—

静岡地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：静岡地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6 月～8 月	9 月～11 月	12 月～2 月	3 月～5 月	
1	フォーラム・セミナーの開催（年 2 回）	新たな地域会員の獲得による会の活性化	2 回開催		10 月		3 月	会員拡大
2	行政・自治体活動への参加	・当会の活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・自治体等との関係強化	4 回出展		伊東市 富士市	沼津市 裾野市		—
3	社会活動への参画	関連周辺活動への参画による視野の拡大	3 件参画	1 件（伊豆の国）	2 件（未定）			伊豆の国、アートビレッジ 6 月
4	市民共同発電所建設の推進	・地域会員の結束強化 ・会の活動費の確保	—		田中山、伊豆の国、河津	茨城市民共同発電		希望の牧場、日本オオカミ協会、伊豆の国
5	世話人会の開催	・地域の結束強化 ・地域活動の活性化	9 回開催	通年				—
6	学習と情報収集 会員とのつながり強化	・世話人、会員の情報交換 ・本部イベントへの参加 ・会員宅、PV 無料点検（先着 10 軒）	3 回実施	1 回（10 軒）	1 回	1 回	1 回	6 月勉強会オフグリッド 6～8 月無料点検

中部地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：中部地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	世話人会の開催	PV-Net の活動、地域活動の共有（3大目標実現に集中討論。討論の深まりと会員にしみ込んでいく企画力アップを目指す）	毎月開催（12 回）	毎月				面白く、楽しい、企画の発信
2	暮らし方交流会の開催	エネルギー問題は生き方の問題追及・模索（年間最低 2 回のハガキ通信にて興味・関心を訴求させる）	参会者 50 名			予定		他地域交流
3	オフグリッドな暮らしづくり（独立型 PV 講座）	具体的な実験交流、発信、拡がりを目指す	参加者 10 名	7 月を予定				会員が楽しんでいる雰囲気の共有

関西ブロック協議会

2016 年度活動計画　　地域名：関西ブロック協議会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	ブロック協議会会議	ブロック体制の改革 会員との連絡改善						
2	研修会	リーダーの育成と会員確保						
3	共同発電所建設	共同発電所建設の推進						
4	他の団体との交流	自然エネルギーの地産地消を目指す団体との交流						

大阪地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：大阪地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	他団体との連携による PV の基礎理解促進	まだ PV の基礎的な情報を持っていない多様な NPO 等へ基礎的情報の出前講演、提供を推進する	3 団体とのミーティング		1 団体	1 団体	1 団体	非営利活動
2	公的関連行事発信	助成制度や非常時の自立運転の方法等についてメディアを通じて会員以外へも発信	反応（サポート）2 団体	随時				非営利活動
3	関西地域協議会の連携強化協議	弱体化している"活動力"の再生を目指す	3 回／年	随時				

兵庫地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：兵庫地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	地球温暖化防止啓発活動	自然エネルギーに関する情報を提供するため、昨年度に引き続き、勉強会、フォーラムを開催。さらに、太陽光発電システムの一般個人の設置者に対し、設置後も相談できる機会を設けることで、安心・安全の向上を図るとともに、長期に太陽光発電システムを稼働させることで、再生可能エネルギーの継続利用に貢献する			勉強会	自然エネルギーフォーラム		
2	相談活動（太陽光発電設置前後の現地コンサル）			随時				
3	国際協力（海外における太陽光発電設置協力事業）							
4	情報共有と情報提供			随時				
5	住民協働による小水力発電復活プロジェクト推進事業			・ポテンシャル調査 ・関連機関訪問	・勉強会 ・先進地視察	次ステップの検討		

宮崎地域交流会

2016 年度活動計画　　地域名：宮崎地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月~8月	9月~11月	12月~2月	3月~5月	
1	セミナーの開催（年４回）	PV の抱える諸問題について設置者のリテラシーを高める	参加者のべ 40 名	通年				
2	熊本地震支援活動	熊本地震による PV による二次災害の防止を図る	２回参加	通年				
3	PV-Green の販売拡大	各種イベントで紹介する	６回	通年				
4	世話人会の開催		２回／年	通年				

東北 6 県地域交流会（準備会）

2016 年度活動計画　　地域名：東北 6 県地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	東北6県 地域交流会の自立	・ 各県別交流会開催（各県訪問で代替可） ・ 地域特性の把握 ・ 会員要求事項の把握	—	山形 6/30	福島(郡山) 9月を予定	宮城で 調整	秋田・青森 で調整	会員拡大 体制強化
2	東北6県地域交流会 活動支援型 市民共同発電所の建設	・ ID 済み～資金調達 ・ 建設準備～建設 ・ 売電開始～点灯式	出資者 30 名 獲得	7月 口座開設 電力協議	設計 材料手配 施工、調整	売電開始 点灯式	調整	会員拡大 体制強化
3	PV カルテの登録、 発電量記録の呼びかけ	・ PV-Net 熱狂的ファンつくり ・ 会員としての目覚め ・ 東北 6 県ネットワークつくり ・ メールでのつながりつくり	カルテ 登録率 10%増	通年				診断システムの 利用者拡大 ネットワークつくり
4	『まちエネ大学』 一関参加呼びかけ （エネ庁に申請中）	・ 会員の可能性の拡大 ・ 会員相互交流 ・ 学習会の横展開	新規会員 5 名／年 の獲得		9月～3月			会員拡大

京都地域交流会

2013 年以降、PV-Net 京都としての活動はできておりません。一方で 2013 年、「PV-Net 関西ブロック協議会」を発足させ、大阪、兵庫、奈良、京都、滋賀の世話人代表をが、一堂に集まり、年に 2～3 回の「協議会」を開催し、それぞれの地域の活動を集約してきました。事務局長に大阪地域の森岡氏を、三石氏を協議会の代表にして、ここ 2 年ほどは推移してきました。なかでも PV-Net 兵庫は、順調な活動を展開していることから、同協議会に参加することで、兵庫の組織体制と運営方法、および研修課題を学んでいます。2016 年度は、PV-Net 京都、PV-Net 滋賀との共同での活動再開を予定。以前計画していた市民共同発電所建設についても再検討を行います。

また、三石氏の提案で、「PV-Net の身近な課題」から可能なことから研修会を始めることになり、2016 年 5 月 29 日、京都市の「市民環境研究所」にて、第 1 回 PV-Net 関西ブロック研修会を実施しました。第 2 回目を 7 月 10 日に予定しています。

九州地域交流会

1. 熊本地震ＰＶ被災調査を行うとともにその結果と検証を基に報告会を開きます。
2. PV の安全性調査に協力します。
3. 被災地での市民共同発電所つくりやリユース・リサイクルの試験的な運用ができるように SONEQ や熊本、宮崎等の関係者とともに実現を目指します。
4. さらに九州内の地域交流会の組織化を進めます。

（5）2016 年度各専門部会活動方針および活動計画

各専門部会についての活動計画についても、地域にならって目的から活動内容を設定し、その目標（数値や状況）を掲げました。

相談室

2016 年度活動計画　　相談室

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6 月~8 月	9 月~11 月	12 月~2 月	3 月~5 月	
1	「相談室便り」の随時発行＆HP 掲載	① 会員への情報提供 ② 注意喚起、関心継続	月に 2～3 回発行	随時				会員価値向上 組織連携強化
2	・ 地域の会員向けイベントでのカルテ・発電量登録の説明会開催 ・ 地域管理ページの活用（未登録者抽出等）	カルテ・発電量登録率の向上	登録率を現状より 20%UP	随時				CO_2 排出削減 喪失防止
3	PV オーナーの義務、安全管理、保全管理、注意事項、システム解説等、項目毎のプロジェクト活動	システム管理に関する FAQ づくり	暫定版発行、順次追加	随時				会員への情報提供 会員価値向上 組織連携強化

財政部

2016 年度活動計画　　財政部

No.	2016 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6 月~8 月	9 月~11 月	12 月~2 月	3 月~5 月	
1	管理コストの削減と運営効率化	効率的な財政運営		通年				
2	イベント時における物販	新たな事業収益の確保に向けた調査・研究	手数料収入 2 万円	通年				

事業化検討委員会

2016 年度活動計画　　事業化検討委員会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	電力自由化の対応（再エネの普及）	市民電力や地域の発電所と新電力との連携強化（売電と買電）	・5ヵ所の新電力への市民・地域発電所への紹介（売電） ・50名の新電力会社への切り替え（買電） ・市民発電所の設立(3ヵ所)	通年				
2	基盤強化事業	昨年度抽出した事業の事業化を推進する	2つ以上の事業化を目指す【案】 ・広告営業 ・リユース（PV、バッテリー）市場づくり ・PV パネルの共同購入等	通年				
3	2019 年問題対応（会員向け）	2019 年（FIT 終了後）になった時に会員が不利益を受けないような施策を検討する	施策立案【案】 ・政策提言 ・システム対応 ・市場創造	通年				

普及広報部

2016 年度活動計画　　普及広報部

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	PV-Net オリジナルのコンテンツ（記事）拡大	団体の価値を高め、賛同者（会員、寄付者、ボランティア、イベント参加者）を増やす	ウェブサイトの滞在時間の増加（現在平均1分10秒）	通年				
2	各種広報ツールの整備		リーフレットのリニューアル	大集合イベントでの配布				

PV-Green 事業部

2016 年度活動計画　　PV-Green 事業部

No.	2016 年度の活動内容	活動の目的（今年、目指す成果や状態）	目標（数値、状況）	実施スケジュール／四半期評価				（参考）団体目標・方針との関連
				6 月~8 月	9 月~11 月	12 月~2 月	3 月~5 月	
1	業務の効率化	各種帳票の整理・再作成（電子化／DB 化）	—	通年				
2	情報の見える化	HP の更新見直し(会員向け・購入者向け)による認証、販売状況、購入者情報のアップ等	・HP 更新 ・その他媒体での報告など	通年				
3	組織的な販売施策の実行	販促資料の作成・活用	一部作成完了	通年				
		販売マニュアルの作成	作成完了		9 月～1 月			
		PV-Green 研修会の実施	理解・実施			11 月～3 月		
		営業活動	実施			11 月～5 月		
4	グリーン電力証書事業の見直しおよび事業継続の検討	東京都補助事業の活用（グリーン電力取引から CO_2 取引への移行検討）	実施開始	通年				

組織部

今年度の組織部の活動の基本方針は、昨年度と同じく、「地域・センターおよび地域関連携の強化」と、「会員拡大」の 2 点である。この 2 つの活動方針は、PV-Net 全体で共有される課題と、それぞれの地域交流会によって多様な課題として展開されるものがある。従って、組織部としては、PV-Net 全体の課題に関して一定の方針を立てながら、同時に、地域の多様な活動をサポートできる組織運営を検討する必要がある。

【具体的取り組み】

1. それぞれの地域交流会で企画された多様な活動、研修会等の会員サポート活動を支援する。
2. 地域交流会での会員管理等、地域交流会の自立活動を支援する。
3. 上記活動を組織部としてウオッチしながら、地域・センターおよび地域関連携の強化と会員拡大の二点に関する点検を半年後、つまり 2017 年 1 月に、中間総括（点検）を行う。
4. 具体的な、組織部の点検項目は、実際の活動実践、会員数の会費収入と会員増減の数値のみである。その点のみを材料とする点検を行う。

●2号議案 2015年度決算報告

NPO法人太陽光発電所ネットワーク

収　支　計　算　書

（自）平成27年　6月　1日　（至）平成 28年5月31日

科　　目	予算額(a)	実績額(b)	差異(b)-(a)	到達率	備考
Ⅰ　経常収入の部					
1　会費収入	6,600,000	4,044,000	▲ 2,556,000	61.3%	
2　寄付金収入	1,500,000	1,383,766	▲ 116,234	92.3%	
3　事業収入					
①　グリーン電力事業					
a.自治体G電力事業	1,228,000	1,906,210	678,210	155.2%	委託：葛飾区(170)、大垣市(21)
b.環境省ソーラー価値買取事業	2,100,000	770,580	▲ 1,329,420	36.7%	委託：環境省
c.PVG事業収入	2,000,000	2,585,702	585,702	129.3%	自主事業：手数料収入
②　市民共同発電事業					
a.市民ファンドサポートセンター事業	1,100,000	3,167,681	2,067,681	288.0%	センター（静岡、野田村）、静岡、東京、千葉
b.市民共同発電所事業	600,000	1,668,115	1,068,115	278.0%	静岡発電所（85）、小諸発電所（80）
③　普及啓発事業（講師派遣等）	4,500,000	4,549,551	49,551	101.1%	講座・セミナー開催、講師派遣/東都生協ソーラー普及事業、自然エネルギー学校（小諸エコビレッジ）、物品販売、広告収入等
④　その他事業	13,000,000	1,061,812	▲ 11,938,188	8.2%	地域活動収入、リユースパネル活用ほか
4　助成金収入	6,600,000	10,621,906	4,021,906	160.9%	地球環境基金（200）、長野県元気づくり（111）NEDO事業（745）、静岡（5）
5　雑収入	300,000	42,053	▲ 257,947	14.0%	受取利息、会議室利用料等
経常収入合計（A）	39,528,000	31,801,376	▲ 7,726,624	80.5%	
Ⅱ　経常支出の部					
1. 事業費					
① 人件費（給与手当）	5,500,000	6,579,388	1,079,388	119.6%	NEDO事業人件費含む
人件費（有償ボランティア費）	6,000,000	3,285,427	▲ 2,714,573	54.8%	
法定福利費	660,000	1,281,483	621,483	194.2%	
② 間接経費（事務所費）	3,353,000	3,091,630	▲ 261,370	92.2%	※賃貸料等の事業活動分の7割
③ 事業直接経費					
自治体G、環境省G電力事業	250,000	823,139	573,139	329.3%	委託：葛飾区、大垣市、環境省
PVG事業費	770,000	1,090,676	320,676	141.6%	委託：PVG事業
市民共同・市民ファンド事業	200,000	2,128,731	1,928,731	1064.4%	静岡、野田村、小諸、サポート事業（地域含）等
普及啓発費	2,800,000	2,129,817	▲ 670,183	76.1%	普及広報部（会報関連、出展イベント費用等）、普及啓発事業（講師派遣、東都生協ソーラー普及事業、小諸エコビレッジ等）、商品販売費等
組織交流活動費	1,000,000	769,777	▲ 230,223	77.0%	地域交流会費用、組織部活動
その他の事業	2,200,000	1,865,583	▲ 334,417	84.8%	その他の事業
助成活動	2,000,000	3,230,470	1,230,470	161.5%	助成：パナソニック、NEDO事業
相談室費	100,000	157,550	57,550	157.6%	相談室交通費
減価償却		760,295			機械装置（発電設備等）
事業費合計	**24,833,000**	**27,193,966**	2,360,966	109.5%	
2. 管理費					
人件費（給与手当）	2,500,000	1,944,424	▲ 555,576	77.8%	
人件費（有償ボランティア費）	1,800,000	1,451,832	▲ 348,168	80.7%	
法定福利費	330,000	362,100	32,100	109.7%	
福利厚生費	30,000	47,839	17,839	159.5%	
会議費	360,000	826,631	466,631	229.6%	総会、理事会費用
旅費交通費	100,000	40,950	▲ 59,050	41.0%	
印刷費	10,000	0	▲ 10,000	0.0%	リソグラフ
通信費	280,000	109,896	▲ 170,104	39.2%	
賃借料	180,000	217,487	37,487	120.8%	複合機リース料
備品・消耗品費・事務用品費・修繕費、資料費	65,000	63,476	▲ 1,524	97.7%	
地代家賃・光熱費	555,000	543,092	▲ 11,908	97.9%	
支払手数料	105,000	120,384	15,384	114.7%	顧問弁護士、顧問税理士料等
雑費・雑損益・支払利息	20,000	897,842	877,842	4489.2%	未収入
租税公課費	180,000	297,167	117,167	165.1%	都民税、消費税等
減価償却		19,473			事務所備品（プロジェクター等）
管理費合計	**6,515,000**	**6,942,593**	427,593	106.6%	
当期支出合計（B）	31,348,000	34,136,559	2,788,559	108.9%	
当期収支差額（A）－（B）	8,180,000	▲ 2,335,183	▲ 10,515,183		

貸　借　対　照　表

平成28年5月31日現在

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

資　産　の　部		金額（単位：円）	負　債　の　部		金額（単位：円）
Ⅰ 流動資産			Ⅰ 流動負債		
現金・預金	8,736,133		短期借入金	7,000,000	
棚卸資産	1,092,250		未払費用	3,220,073	
前払費用	275,043		前受金	1,913,000	
未収入金	760,980		仮受金	20,160	
立替金	68,513		預り金	464,634	
流動資産合計		10,932,919	証書預り金	1,772,320	
			基金預り金	2,613,441	
Ⅱ 固定資産			流動負債合計		17,003,628
有形固定資産	6,714,014				
無形固定資産	27,010		Ⅱ 固定負債		
投資等その他の資産	676,678		長期借入金	3,570,000	
固定資産合計		7,417,702	固定負債合計		3,570,000
			負債合計		20,573,628
			正　味　財　産　の　部		金額（単位：円）
			前期繰越正味財産	112,176	
			当期正味財産増加額	△ 2,335,183	
			正味財産合計		△ 2,223,007
資産合計		18,350,621	負債及び正味財産合計		18,350,621

会計財産目録

平成28年5月31日現在

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

科　　目		金　　額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	事務局	1,953,093	1,953,093
	茨城地域交流会	0	
	栃木地域交流会	5,791	
	群馬地域交流会	180,067	
	埼玉地域交流会	105,357	
	千葉地域交流会	207,111	
	東京地域交流会	51,705	
	神奈川地域交流会	0	
	山梨地域交流会	84,832	
	静岡地域交流会	45,139	
	中部地域交流会	14,628	
	関西地域交流会	0	
	宮崎地域交流会	166,369	
	九州地域交流会	127,056	
	佐賀地域交流会	32,767	
	富山地域交流会	150,233	
	山口地域交流会	46,304	
	京都地域交流会	184,696	
	小諸地域交流会	30,748	
	兵庫地域交流会	0	1,432,803
普通預金	三菱東京UFJ銀行　神保町支店　No. 2368131	792,125	
	三菱東京UFJ銀行　神保町支店　No. 2417857	1,395,750	
	三菱東京UFJ銀行　神保町支店　No. 2417860	1,311,200	
	三菱東京UFJ銀行　神保町支店　No. 0916079	384,579	
	郵便貯金　振替口座　00190-7-758332	588,835	
	楽天銀行　ロック支店　No. 7015479	77,887	
	郵便貯金　普通口座　10130-79780731	799,861	
	郵便貯金　普通口座　10100-37031031	0	5,350,237
棚卸資産			
（書籍）	太陽光発電技術者育成のための基礎知識　@1250×289冊	361,250	
（書籍）	太陽光発電の家づくり入門　@1700×4冊	6,800	
（書籍）	よくわかる自然エネルギーQ＆A　@1400×19冊	26,600	
（書籍）	エネルギーシフト　@1400×21冊	29,400	
（書籍）	アドバイザー試験公式テキスト　@2400×1冊	2,400	
（書籍）	我が家ではじめる太陽光発電　@1600×338冊	540,800	
（書籍）	単管パイプによる太陽光発電　@2000×12冊	24,000	
（書籍）	人生は100Wで生きられる　@1400×3冊	4,200	
（商品）	ミニ ソーラーカー @400×2	800	
（商品）	Tシャツ　@2000×25　手ぬぐい　@500×9	54,500	
（商品）	ソーラーランタン　@1900×5、@2100×3　ソーラーパネル　@5140×5	41,500	1,092,250
前払費用			
（家賃）	湯島ビルディング　湯島事務所　家賃・倉庫料	142,693	
（施設利用料）	小諸エコビレッジ	17,960	
（引落し手数料）	16年度年会費引落手数料	90,815	
他	リース料等	23,575	275,043
未収入金			
環境省	環境価値買取事業	154,980	
のだむら市民共同発電所	サポート料　。　寄付金	606,000	760,980
立替金	のだむら市民共同発電所　事務経費	68,513	68,513
流動資産合計			10,932,919
2. 固定資産			
有形固定資産			
工具器具	輪転機・電話設備一式等	75,049	
機械装置	（静岡市民共同発電所）	2,781,477	
機械装置	（小諸市民共同発電所）	2,406,134	
機械装置	（小諸独立型発電所）	1,320,867	
車両運搬具	（小諸独立型発電所）	130,487	6,714,014
無形固定資産	電話加入権	27,010	27,010
3. 投資等			
出資金	未来バンク事業組合	139,000	
出資金	合同会社 野田村だらすこ市民共同発電所	50,000	
出資金	恵那山おひさま発電所	30,000	
出資金	静岡市民共同発電所	30,000	
出資金	合同会社 うつくしま	50,000	
出資金	川根スカイエナジー合同会社	50,000	
差入保証金	湯島ビル　本社事務所保証金	327,678	676,678
固定資産合計			7,417,702
資　産　合　計			18,350,621

科　　目		金　　額	
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	（外崎 宰 氏より）	7,000,000	7,000,000
未払費用	地域交流会費用	501,864	
	給料 未払い分	2,718,209	3,220,073
前受金	2015年度以降の会費	1,913,000	1,913,000
仮受金	グリーン電力入金　未処理	20,160	20,160
預り金	給与源泉税	125,897	
	報酬源泉税	12,852	
	住民税	36,200	
	雇用保険料	25,206	
	社会保険料	84,479	
	その他（弁護士顧問料）	60,000	
	その他	120,000	464,634
証書預り金（PV-Green）		1,772,320	1,772,320
基金預り金(PV-Green)		2,613,441	2,613,441
流動負債合計			17,003,628
2. 固定負債			
長期借入金			
（静岡市民共同発電所への出資金）		3,570,000	3,570,000
固定負債合計			3,570,000
負　債　合　計			20,573,628

監 査 報 告

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワークの平成２７ 年度収支決算について、 収支決算書に基づき関係帳簿および証票書類を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

以上

《 監査年月日 》

平成 ２８ 年 ７ 月 12 日

《 監事 》

氏名 吉永光伸 印

氏名 芦澤公子 印

●4号議案　PV-Net2016年度予算案

○収入の部

経常収入の部		金額	備考欄
基礎収入	会費収入	4,800,000	個人会費(450)、賛助会費(30)
	寄付金収入	1,500,000	
	基本収入合計(A)	6,300,000	
事業収入	グリーン電力事業(自治体)	1,150,000	委託業務:確定:委託業務　葛飾(115)
	グリーン電力事業(PV-Green)	2,150,000	自主事業:手数料収入(200) 委託事業:環境省(15)
	市民共同発電事業(市民FSC)	1,450,000	自主事業:香川、岩手、その他地域(100)
	市民共同発電事業(発電所運営)	1,650,000	自主事業:静岡伊豆の国(85)、 小諸エコビレッジ発電所(80)
	普及啓発事業	4,500,000	講師派遣、イベント収益、物品販売、広告収入、その他 普及啓発事業
	その他事業 (新規事業等)	2,000,000	自主事業:電力自由化事業(80)、その他
	助成金収入	15,500,000	NEDO助成(1,000)、パナソニック(200) その他(350)
	雑収入	300,000	
	事業収入合計(B)	**28,700,000**	
収入合計(A)+(B)		**35,000,000**	

○支出の部

経常支出の部		金額	備考欄
事業部門	(1)人件費		
	給与手当	6,470,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	4,620,000	通勤交通費含む
	法定福利費	1,050,000	
	人件費合計	12,140,000	
	(2)直接経費		
	・グリーン電力事業	1,150,000	PVG事業(70)自治体G(45)
	・市民共同発電事業	1,225,000	共同発電所(70)、サポート事業(45)、
	・普及啓発事業	4,200,000	会報(45)、HP(40)、イベント開催・出展、商品仕入、地域交流会活動(250)、組織部活動(30)、小諸エコビレッジ(40)、
	・相談事業	3,200,000	相談室活動(20)、ガイドライン(270)、熊本調査(30)
	・その他事業	800,000	自由化PJ(40)、
	直接経費合計	10,575,000	
	(2)間接経費		
	事務所経費等	2,900,000	賃貸料、光熱費、租税公課等
	間接経費合計	2,900,000	
	事業費合計(A)	**25,615,000**	
管理部門	(1)人件費		
	給与手当	1,900,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	1,400,000	通勤交通費含む
	法定福利費	260,000	
	福利厚生費	30,000	
	人件費合計	3,590,000	
	(2)その他経費		
	会議費	850,000	総会(50)+理事会(35)
	旅費交通費	100,000	
	通信費	100,000	
	事務用品等・備品費・修繕費	75,000	
	賃借料(リース料)	240,000	
	地代家賃・光熱費	555,000	
	支払手数料	110,000	
	雑費、諸会費	50,000	
	租税公課	115,000	都民税+消費税
	その他経費合計	2,195,000	
	管理費合計(B)	**5,785,000**	
その他支出			
その他	未払金支払	2,800,000	未払金決済
	予備費	800,000	予備費
	その他支出合計(C)	**3,600,000**	
支出合計(A)+(B)+(C)		**35,000,000**	

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 602

TEL：03-5805-3577　FAX：03-5805-3588

www.greenenergy.jp